



「夏休みの思い出」

新野地区子ども会育成会の行事「思い出作りの一日」で魚つかみをしました。



令和3年9月1日

発行人●阿南町公民館編集部

編集人●公民館報編集委員会

印刷所●飯田共同印刷株式会社

連絡●〒399-1511 東條58-1 TEL 22-2270 FAX 22-2287 E-mail:kyouiku@town.anan.nagano.jp

# あなん

もくじ

- P1 表紙 遊歩道
- P2 わが町のU・Iターン者紹介
- P3 大陸流転
- P4 公民館分館紹介
- P5 私の趣味・自慢  
おらほの若い衆、私の夢
- P6 わが町の石造文化財
- P7 できごと・お知らせ
- P8 あの人、この人、編集後記

## 遊歩道

青空にぼっかりと浮かぶ錦雲。「のどかだな！」暑さを避けて、木の下で涼んで眺めた青空は広く、世の中コロナ禍で大変なことなど忘れて、静かな気持ちになりました。オリンピック、パラリンピック、夏の甲子園が開催され、テレビで連日選手の活躍を観て、結果に関係なくただ「一生懸命」の姿に感動しました。複雑な世の中で純粹な気持ちでいられるのは難しいけれど、スポーツの力はすごいと思いました。

先日、広島で平和記念式典が営まれました。そこで小学6年子ども代表の「平和への誓い」の中で「本当の別れは会えなくなることでなく、忘れてしまうこと」とありました。はっ！とする言葉でした。

夏休みが終わりましたが、子どもには「なぜ」という探究心がたくさんあります。ある学校の外国を学ぶ授業で先生が「私は外国へ行ったことがないから自習です」と言われた子どもたちは、みんな考えて大使館に行って聞いてみようと思ひ出かける許可をもらいました。先生は子どもたちの行動を見守るだけですが、そんな風に子どもを伸ばしてあげたいです。

## わが町のU・I ターン者紹介③

小 掠 啓 司 さん

純 子 さん (和合)



小掠さんは32年前に大阪から移住してきました。自給的有機農業を営みながら、念仏踊りや小学校存続など、地元のためにさまざまな活動をしてきました。手作りの自宅も話題になりました。家族は、お子さん2人が巣立ち、奥様の純子さんと中学生が1人。近所にご両親がお住ま

いです。猛暑の午後にご自宅でお話をうかがいました。

こんな山奥になぜわざわざというのは、32年間変わらない質問ですね。そのたびに説明は続けてきたけど。もう大阪より和合の方が長くなりました。

バブルなんて大嫌いだっし、ちゃんと物を作って地道にやるのが好きでした。田舎で農業という生き方もあるということに移住・就農を決意しました。バブルは崩壊、日本は元気がなくなっただけと私はずっと元気です。学生時代に研修したり、準備したりが数年あって、最終的に和合にたどり着きました。

和合はその頃でも超過疎とは言われていましたが、今から思えばにぎやかでした。4時をまわるとだいたい一升瓶が出てくるといふ時代。

和合に入って5年くらいで両親が来て、その後7、8年後くらいで妻が来ました。両親は、田舎で百姓をやると言ったら、びっくりしていたけ

ど、喜んでくれました。定年になって、町にいてもやることがないし、どうせならいっしょにと言って和合へ。父は55歳くらいでしたが、会社では年寄り扱いだったのが、和合では若者として頼りにされて喜んでいましたよ。

東京育ちの妻も、農業がしたくてあちこち農場を回って研修したりしている中で、小掠が自給的暮らしをしていると聞いて訪ねて来ました。

念仏踊りとか、学校関係とか、消防とか、いろいろやってきて、和合中の人と知り合いになれて良かったと思います。ただ、いつの間にかだんだん周りが減ってきてそれは寂しい。

昔は、畑に草を生やしておけば「もっとみやましくやらんか」と指導してくれる年寄り衆がおられたのですが、だんだんみんな年をとってきました。今Iターンの人は楽ですが、村の人となかなか深いつきあいができない、面と向かって教えても

らえないということはありませんね。

Iターンの人と村の人と、価値観の違いをお互いに分かり合うというのは、なかなか難しいことです。それはそれで置いておいて仲良くやっていける関係を作る、というのが大事だと思います。私に役割があるとしたら、その仲立ち役かな。ちょっとした誤解や行き違いで関係が悪くなるのは、一番避けたいことですし。

村のこれからですが、Iターンの人は、あえてこういうところがいいと入って来ている。地元の人でも、積極的にいいと思う人が出てこられると面白いです。次の代かその次の代かです。

2019年からは国連が定めた『家族農業の10年』です。持続可能な家族型小農業を進めようという考え方。農村の維持のためには小農しかない。山や田んぼを保持していくのが国土を守ることに繋がります。

# 大陸流転

## 敗戦そして抑留8年

(29)

熊谷秋穂氏著

### 日本人子弟学校

た。特別に忙しいものでなく、土曜日、日曜日も与えられて自由の時間があつた。

蒋介石は完全に敗退して、台湾に撤退した。解放戦争も終結

朝鮮戦争にも日本人は必要なくなった。今度こそ「日本に帰れる」と思っていたのは、俺だけではなかったと思う。ところがまた、新しい任務に就かなくてはならなかった。

「中国人民解放戦争の為に拘留された技術者の子弟を教育する学校を建設して、開校する任務に転勤せよ」

漢口市に駐留し、後勤衛生部付見習會計として本部の仕事をした時の転勤命令だった。

本部の仕事は、部隊から給料の計算、食糧費や被服の支払いの伝票が上がって来るので、その集計をするのが主たるものだった。

上司に連れられて休日には、度々劇場に行つて京劇を見た。

厚化粧した役者が奏でる胡弓に合わせて歌い、馬に見立てたムチを繰り、女形はカン高い声を張り上げて歌ったり舞ったり、実にあでやかだ。意味や人物などは説明してもらったりした。孫悟空はよく上演されていた。俺達には当時、中国解放記念章が交付されていたので、これを胸に着用して観劇に行く料金は免除された。これだけが特別待遇だったので、休日には必ず京劇を見るのが日課だった。楽しみの一つだった。

こんな時の転勤命令だったので気は進まなかったが、日本人だけの子弟学校だったので、

「今度こそ日本に帰る準備かな」と淡い希望を抱いたのも確かだ。世話になった上司に礼を言つて、汽車に乗り込んだ。

子弟学校に着くと、加藤校長、小暮幹事が迎えてくれた。自己紹介をして、任務目的などの説明を受けた。

中国憲兵一〇人くらいが学校の警備に当たつてくれた。教員免許を持った先生方も医師、看護婦、炊事員、保母、事務員もすべてが日本人だった。

民族幹事といつて日本人の思想教育に当たつていた小暮さん夫妻は、日共の黨員だったようで、奥さんは子供が出来ないよううに手術をして党務に専念していた。中国に渡つた活動家だと聞いたが、そんな気配はあまり出さなかった。

子弟学校の生徒数は一クラス一五人前後だったと記憶している。

軍服だったのが、紺色の人民服に変わった。月々の給料の額も、今までと

違つて多くなつたし、私服の着用も自由になつた。

厳しかった軍規の適用が除外されて、それまでは男女の恋愛など部隊内では絶対認められなかったのが、恋愛は自由、結婚まで認められるほどに緩和された。子弟学校には適齢期の人達が多かつたので、待つていましたとばかり、恋愛、結婚が盛んに行われるようになり、ほとんどが結ばれたのだった。



日本人子弟学校の朋友たち 筆者は後列右

# 公民館分館紹介

## 富草地区 浅野分館

国道151号富草交差点を東に下り、富草小学校、富草グラウンドを通り、トンネルを潜って阿南病院へ向かうと門原川沿いに浅野集落が点在します。浅野公民館を東へ進むと鴨目へと繋がります。浅野分館と鴨目分館を合せて富草地区東部のグループになります。

あみだ堂とっています。あみだ堂の中には、地藏様を祀っています。外にも多くの地藏菩薩が祀ってあります。上松町の阿弥陀堂との関わりがあるのかは確認していません。

あみだ堂（浅野公民館）では毎年1月1日に集落の家族会員が集まり、賑やかに新年を祝いますが、最近ではコロナ禍で密を避けるため簡素化しています。

### ■浅野公民館

浅野公民館のことを皆さんは、



あみだ堂 中の地藏菩薩

### ■化石の発掘

この辺り一帯からさまざまなサメの歯の化石が採取されています。カニサイと呼ばれるサイの下あごの化石は故佐々木仲男氏（阿南町富草浅野）によって発見されました。他にも多くの化石が出ていて、つい最近ではあみだ堂前の道路拡張工事の際に貝の化石が出ています。



発掘された化石

### ■熊野社

春と秋には全戸が集まり熊野社へ参り祈願、感謝の儀式として行事を執り行っています。熊野社は公民館のすぐ上にあります。



熊野社

和歌山県の熊野大社と関わりがあります。熊野社の鳥居は上部に貫が柱で止めてありその上に笹木を渡してあるのですが、貫が柱から突き抜けている鳥居もあります。いろいろと鳥居を見比べるのも面白いものです。



熊野社 鳥居

### ■浅野分館

富草地区浅野分館から、あみだ堂の地藏菩薩、化石の採集跡、熊野社の鳥居を紹介させてもらいました。何はともあれ先人が残してきた神仏を敬うことで絆が育まれます。皆が和気あいあいと集い、穏やかで優しい気持ちの対話から生まれる結束は強く、住んで良かった、暮らしてよかったと思える集落です。

# 私たちの趣味・自慢!

大下条 深見 はらだしづこ 原田志津子さん  
むらさわふさこ 村澤 房子さん

飯伊地区のシニア大学にH21年5月に入学したのがきっかけでした。毎月2回飯田に通い、その中でクラブ活動としてパッチワーククラブを立ち上げました。その頃は10人以上の参加があり、大勢の友人もでき楽しい交流ができました。大学はH22年に卒業し現在は5人になりましたが毎月楽しく続けられ10年以上になるそうです。



手提げや小物、クリスマスやお雛様など季節の飾り物、着物をリメイクしたもんぺなどを作っています。もんぺはご自分でも着用されていて、素敵でした。とても楽しそうです。お2人とも70歳を過ぎていらっしゃいますが、社協やシルバー人材センターでのお仕事をしながらさらに新作を作成中!



# おらぽの若い衆

富草 いまい あいこ 今井 藍子さん

・あなたが今やっていることについて教えてください。

出身は東京ですが、長野県農業大学校で学んだご縁で、この4月から信州アトムで働いています。

今はお米の栽培と、ミニトマト『アイコ』の栽培と出荷を担当しています。

・これからやりたいことは何ですか。

学校では野菜専攻だったので米作りは初めてでわからないことだらけですが、とてもやりがいがあります!

阿南のみなさんは温かい人が多く農家の方たちも優しく、そんなみなさんに囲まれているので早く仕事を覚えて、美味しいお米を作れるようになりたいです。



# 私の夢

和合小学校 6年生

ほんだかなめ 本多 叶夢さん



ぼくの夢は、ケーキ屋です。どうしてかというと、おかし作りが、好きだからです。もし本当にケーキ屋になれたら、色々な新しいケーキを作って有名なケーキ屋になりたいです。夢を実現させるために、一か月に一回お菓子を作っています。

これからがんばりたいことは、友達に誕生日ケーキを作ってあげることです。マカロンを作って食べてもらったときに、「おいしい!」とってもらえたのがうれしかったです。なので、また作りたいです。夢に向かってがんばります。



わが町の石造文化財②

古城の摩利支天像(富草)  
明治の用水取得事件で祈願建立

阿南町富草古城金山二二二六番地に摩利支天像一体が祀られている。この地区は、甲斐源氏の分流下条頼氏が応永年間(一三九四〜一四二八)に大沢城を築き、下條の吉岡城に移った文明七年(一四七五)まで居城していた土地である。

摩利支天像の祠は、天龍川より直路と言われる急坂を登りきった所、古城八幡社方面からの交差点付近から数メートル離れた小高い丘の松の根元にあり、そこに四体の神様とともに祀られている。

摩利支天像は、高さ五八cm・幅四五cmほどの花崗岩の自然石に陽刻され、覆屋の中にあっため新しく見える。

昔、この地は下條氏の重要な交通の要所であり、古城地区の

人達が維持管理をしてきた。佐々木家ではお稻荷様は下條氏のものであると言うことで、明治の初めに古城八幡社東側に移転した。その後、稻荷大明神は八幡社の弓場の関係から、直路の坂から上った、屋敷と呼ばれる土地に移転し祀られている。

この付近には昔から飲料水と農業用水を兼ねた井水が来ていて、小さな農業用溜池もある。さらにこの北側の畑には「下條様の石」と言われる碑があり、その東にも農業用溜池が存在した。この溜池を埋めるために畑の土砂を採ったとき、中世の陶器破片や玄武岩の石臼及び鉛玉等が出土した。下条様の石の畑を耕作していた際、江戸時代の一分銀が碑の付近より出土したとのことであり、中世から近世・現代にかけての居宅の地と思われる。

明治二〇年頃、古城地区を流れる大沢川の用水取得問題がおこり、隣村の有力者と裁判沙汰になった。古城地区の農業用水

関係者が集まり、裁判に勝つことを祈願して、この地に摩利支天像を建立して祀ったと言う。剣弓矢を持ち、手が六本あり猪に乗り怖い顔をして、赤い炎を背後にしている姿は、子供心に強烈な恐怖心を覚えたものである。しかも、炎の部分は赤色塗彩されていたと記憶している。尚、この裁判は摩利支天のお陰で勝利したと伝えられている。

摩利支天は飯田市には三体、下伊那地方には一四体ほどあり、浮彫像は三体で、他は文字碑である。上郷北条の御嶽社境内、高森町吉田城山御嶽様・上市田御嶽様など木曾御嶽講と関わるものが多い。

建立年代も幕末から明治中頃までが大部分で、世相を反映して建立されたものと思う。古城のように目的意識が明確化されて建てられた例は珍しい。

摩利支天については、「摩利支天経」や「広辞苑」等に従うように記している。

「昔、帝釈天がアスラと戦ったとき、日と月を守った。自らは隠形、つまり姿を見せないが、この神を念ずると、他人はその人を見ず、知らず、害することなく、欺くことなく、縛することなく、罰することなく、利益を得るといふ。日本では武士の守護神とされて、護身・隠身・遠行・得材・勝利などを祈る」神と言われている。

「下条由来記」などによると、下條村入野で摩利支天に出会い、剣術の修行をしたとか、また武田家の家来となり、弘治二年の武節の合戦などにも摩利支天の長刀で功績を挙げたことが書かれている。



古城大手の摩利支天像

# できごと 7・8月

富草海物語2021  
8月7日



富草公民館では恒例行事である「富草海物語」を開催しました。

今回は参加者の検温・手指消毒や参加者を富草地区の小学校関係者に限定するなどの新型コロナ

ロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら実施しました。参加者は43人で浅野へリポート付近の河原で化石採取を行いました。その後、富草老人福祉センターへ移動し、化石クリーニング体験を行いました。

新野地区子ども会育成会  
『思い出作りの一日』  
8月7日



新野地区子ども会育成会主催の『思い出づくりの一日』を8月7日に開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大

大が続いているなかではありましたが、「新野の子どもたちに夏休みの思い出をつくってもらいたい」という思いから、参加者を新野在住の子どもに限定し、役員をはじめ参加者全員への検温の実施やマスクの着用など、新型コロナウイルス感染症対策をきちんと行うことで開催に踏み切りました。

今年も昨年と同様2部構成で、午後3時から市ノ瀬川親水公園での魚つかみ、7時30分からは新野学校グラウンドで花火大会を行いました。

花火大会では、花火の前に「王様ゲーム」を行った後、新野高原盆踊りの会の皆さんにご協力いただきながら「新野の盆踊り」を参加者全員で踊りました。そして、盆踊りも終盤に差し掛かるころに20発余の打上げ花火を行い、真夏の夜空を彩りました。最後に家族ごとに手持ち花火を楽しみ、子どもたちは盛りだくさんのイベントに楽しひと時を過ごしていました。

**「中止となった  
9・10月の主な行事」**

- 阿南町公民館
  - ・あなん元気塾
  - 例年10月中
- 大下条公民館
  - ・ひまわり栽培体験
  - 6月～10月
  - 年4回程度
- ・深見の池 親子釣り大会
- 9月26日(日)
- ・大下条地区球技大会
- 10月10日(日)

**「未定となっている  
9・10月の主な行事」**

- 町民登山
- 10月24日(予定)
- 富草町民運動会
- 10月10日(予定)
- 和合地区運動会
- 10月10日(予定)
- 新野自然観察会
- 10月中(予定)

# あの人この人



大下条 田上  
かつまた りつこ  
勝又 律子さん

私が早稲田人形保存会に参加してから15年になります。以前人形劇をしていたこともあり道産子の私には、何百年も継承されている民俗芸能は興味深いものでした。お話が来たときはすぐに参加を決めました。

人形浄瑠璃は人形1体を3人で操ります。伴奏、音響担当する三味線、そして台本のすべて(セリフ、ナレーション等)を受け持つ太夫で構成されます。当時は芝田さんが三味線の弾き語りという大変なことを長年

やっておられました。私はおしゃべりが得意で大声を出すことには自信

があったので、太夫をやらせていただきました。

まずは研修のプロの師匠さんから指導を受けました。伊那谷4座(黒田・今田・古田・早稲田)からの受講生で15人程でした。

1回30分で2、3回しかなかったのですが、テープを聞き練習しました。言葉のみの歌本に色々な印を付けます。人が見ればひどい落書き帳です。

稽古の時「太夫こければ皆こける。台詞とぼそろが遅くなるうが、三味線も人形も勝又さんについて行く」と、励ましを受けながらがんばりました。今では10題ほど語れるようになりました。

昨年初めて浜松への県外公演をし、大勢の観客で驚き緊張しましたが、終演後、実行委員の方にお褒めの言葉をいただきとても感激しました。これからも声の続く限り大切な生きがいとしてがんばりたいと思います。

# うちのホープ



和合 中川  
あゆみ  
熊谷 美さんのお子さん  
りくと  
いわた くん(6歳)

ぼくの名前は溪です。お母さんは鮎美で、ぼくは溪流の溪。家の前にはきれいな川が流れているよ。お母さんは、お酒の名前から思いついたんだよ、なんて言ってるけどね。

ぼくは大下条保育園のうめ組だよ。今は竹馬とプールがおもしろいよ。大きなB&Gのプールにも遊びに行っているんだ。

手に持っているのは阿南少年自然の家で作ったキーホルダーだよ。ちゃんと名前も書けるようになったよ。

隣にいる犬はこうちゃん。猫もいるし、牛はおじいちゃんが20頭くらい飼っているんだ。はじめはちょっとこわかったけど、このころは時々お手伝いをしているよ。そうそう、このあいだお風呂場でちっちゃなカブトムシを見つけて、コップの中で飼っているよ。おじいちゃんといっしょに、釣りに行きたいな。



先日、足の不自由な方を連れて買い物に行きました。店内移動用の「車椅子」の貸出をお願いしたところ、店には貸出用の「車椅子」は置いてないとのこと、仕方なしに本人の腰を支えながら買い物をしてきました。

折しも今年、東京でパラルインピックが開催されています。障がいがあっても自由に買い物を楽しめるように、多くの店舗が障がい者に配慮された店になることを願っています。